

進路だより

都立町田の丘学園校長 三浦 昭広
進路指導部 第6号 令和6年11月11日

木々の葉が色づき始め、美しい秋景色が楽しめる季節となりました。秋の深まりとともに、日々の寒さも増しています。体調管理にも気を配りながら過ごしていきたいものです。



さて、高等部3年生はいよいよ進路希望を出し、相談していく段階に入ります。卒業後の生活について御家庭で、また、担任と相談し、焦らず、じっくりと考え、納得のいく進路先を見付けていきましょう。

また、今月は「まちだ祭」もあります。それぞれの学年が日ごろの学習の成果を出せるように、しっかり準備をしていきましょう。



現場実習を終えて～実習生たちの声（AB部門高3編）～



《 A部門3年 かたるべ会 第2かたるべ社 》
第2かたるべ社に実習に行きました。
作業内容のパレットではしっかりと押さえなければいけないことがとても印象に残りました。
通勤時に問題があっても、冷静な判断ができるようにする部分が課題でした。

《 A部門3年 ウィズ町田 なないろ 》
なないろに実習に行きました。
作業では、封入作業とラベル貼りの作業をしました。よくできたと思います。楽しかったです。給食もおいしかったです。

《 B部門3年 株式会社 ケーユーホールディングス 》
ケーユーホールディングスに行きました。作業内容は事務作業や軽作業を行いました。頑張ったことは資料作成やPC作業など、任された仕事を集中して一つ一つ丁寧にやることを頑張りました。

《 B部門3年社会福祉法人コメット 原町田スクエア 》
原町田スクエアに行きました。作業内容は食器洗浄や清掃業務に取り組みました。頑張ったことは、周りを気にせずに、集中することができました。ここでの経験を活かして、将来活躍できるようにしたいと思います。

A 部門高等部 遠隔社会科見学

～小豆島 オリーブ公園～

A 部門高等部では、キャリア教育の一環として毎年株式会社沖ワークウェル主催の遠隔社会科見学に参加しています。障害のため遠隔地への外出が困難な生徒のために、日本各地の景勝地や歴史的に重要な遺跡、産業や文化を担っている地方の企業やそこで働く人たち取材して、現地から ZOOM を使用したオンラインで配信して下さいます。生徒たちは教室にいて、中継画面を見ながら現地に近い共催校の生徒たちが出してくれるクイズに答えたり、質問をしたりして双方向でのやり取りが活発に行われました。今年度は都内各肢体不自由特別支援学校を含め北海道から九州まで 27 校が参加しました。

見学地は香川県の「小豆島オリーブ園」でした。ピザにパスタにサラダのドレッシングにと、日本の食文化にもなじみ深い食材であるオリーブ。100 年ほど前に日本に渡来したオリーブは、様々な試行錯誤の末、小豆島で栽培が成功し、薫り高いオリーブオイルや化粧品など様々な加工品が作られるようになりました。事前学習では、オリーブの種を活用して何か作れないかという沖ワークウェル様からの提案を受け、飲料ボトルを使ったマラカスや、プラスチックケースを使ったオーシャンドラムを作りました。オリーブの実を知っていても種を見るのは初めてでしたが、カラーテープで思い思いに飾ったマラカスやオーシャンドラムを振って波のような音や種のカラカラとした感触を楽しみました。

オリーブ公園からの中継映像を見ながら、オリーブについて学び、クイズに答え、また各校から紹介された作品を見て、楽しく学ぶことができました。



B部門高等部1年生職場見学

B部門高等部1年生は10月11日(金)、

(1) 働く現場や生活の場を見学し、広く「働くこと」について考える。

(2) 見学先や交通機関の利用を通して、社会生活のマナーやルールを学ぶ。

を、目的として3グループに分かれ、6事業所の職場見学を実施しました。それぞれの生徒がそれぞれの感性で見学し、感想を持つことができた1日となりました。受け入れてくださった事業所の関係者の方々、本当にありがとうございました。

◆社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会

ニーズセンター花の家・クッカ広場

秋の陽気の中、スクールバスで伺いました。いくつかの作業場面を見せて頂いた後、お皿の制作体験というサプライズを体験させて頂くことができました。その場ですぐできる作業をあらかじめ用意してくださり、さらに完成品を後日送っていただくというプレゼントまで頂きました。

◆社会福祉法人 まちだ育成会 かがやき

再びスクールバスに乗り、お邪魔しました。

室内で穏やかに作業に取り組む先輩の姿や、ピニルハウスで現場実習に取り組む3年生の姿を目にすることができました。ダリア園はシーズン中で多くのお客様がいらしていましたが、私たちが案内していただき、少しの時間散策したり、噴水の前で写真を撮らせて頂いたりしました。

◆社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会

ボワ・アルモニー

学校からスクールバスでボワ・アルモニーに向かいました。仕事内容は広告の封入や宛名ラベル貼りでした。利用者の方々の集中力やスピード感到に驚く生徒たち。緊張感のある空間の中でしたが、疑問に思ったことは質問させていただき、少しずつ職場のイメージをもつことができました。

◆社会福祉法人 ウィズ町田 なないろ

なないろでは4階から1階まで全ての職場を見せていただきました。縫製部では手作りの製品や100円ショップの下請け作業を、3階ではお豆腐の加工や軽作業を、2階ではお弁当の配色を、1階では農作業の様子を見せていただきました。色々な職種を見て自分に合った内容を一生懸命考える生徒たちでした。

◆株式会社 ベネッセビジネスメイト

小田急線を使ってオフィスビルに向かい、生徒たちは緊張した面持ちで特例子会社の見学に臨みました。はじめに、本校卒業生の先輩の話と会社説明をメモを取りながら聞いた後、メール便・清掃・社内カフェ・事務作業を見学させていただきました。てきぱきとした作業、わかりやすいお話に刺激されたようで、質問も多かったです。

◆社会福祉法人 つるかわ学園 町田通勤寮

多摩センターで昼食後、成瀬にある町田通勤寮を見学しました。こちらでも食堂で通勤寮の概要説明を聞いた後、実際に2グループに分かれて2人部屋・1人部屋・お風呂など見学させていただきました。こちらでも部屋での過ごし方や余暇活動など細部に渡り質問が多く出ていました。「自分も入りたい」という声も多かったです。



町田市福祉事業所等連絡会

9月26日(木)本校舎体育館にて上記連絡会を実施しました。今回は、28の事業所の方に御参加いただきました。B部門小中学部含め全児童生徒が集めた校舎の様子と、現場実習やインターンシップでの姿ではなく普段の高等部の生徒の姿を見学していただきました。この日は高等部2・3年生の作業学習の日で、受付での事務班や休憩時間のコーヒーサービスで喫茶班の生徒と直接交流していただきましたが、これは生徒たちの励みにもなっております。

両部門高等部2年生の生徒代表2名からは、インターンシップの経験から将来に向けた目標の設定などを発表してもらい、最後は学校と各事業所の皆様にてグループ懇談をさせていただきましたとなりました。中心となるテーマはそれぞれ、「送迎について」「作業の切り出しと利用者の実態」の変化「生活介護事業所の実態」「軽度障害者の課題と解決策」でした。

この会で名刺交換をされている方々も多くいらっしゃいました。

ここで事後アンケートにていただいた内容を、少しでもご紹介させていただきます。

①全て良かったです。どこの生活介護事業所も定員一杯ぎりぎりの状況、更に障害者の高齢化等同じような問題を抱えていると思えました。今後生活介護事業所同士が連携をとっていくことが大切だと思えました。(生活介護事業所)

②新設校に伴う登校エリアの変化などわかりやすかったです。在校生の皆さんの挨拶など丁寧な印象でした。(宿泊型自立訓練事業所)

③懇談会については議題(今回のようなテーマ)があると話しやすいと感じました。(生活介護事業所)

最後になりますが、参加いただきました事業所の皆様、お忙しいところ本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

まちだ祭のご案内

町田の丘学園では11月23日(土)に「まちだ祭」を開催いたします。今年は小、中学部が本校舎に合流してから、初の全校生徒によるまちだ祭となります。同封の「まちだ祭の御案内」を参照の上、日時と場所を確認して御来校ください。多くの方に来ていただくと生徒の励みになることと思います。なお、詳しいプログラムは町田の丘学園のホームページに掲載しております。併せて御覧ください。

町田の丘学園進路だよりでは、地域の施設や支援機関、保護者の皆様からの情報をお待ちしております。掲載希望の情報がございましたら、進路指導部までお寄せください。

<東京都立町田の丘学園> 【電話】042-737-0570 【FAX】042-737-0580